

尚美学園大学尚友会第7回定期総会報告

会場：株式会社ライセンスアカデミー 東京本社会議室

全国の卒業生の皆さん、こんにちは。7月10日（土）に開催された「2021 年度第7回定期総会」は盛会裡に終了しましたのでご報告致します。



尚、当日は、芸術情報学部の恩田憲一学部長様はじめ、定平誠情報表現学科長様、後藤文夫音楽表現学科長様、竹内誠音楽応用学科長様、山崎岩男舞台表現学科長様のご臨席を賜りましたこと、誠にありがとうございました。

—会長より開会の挨拶—

昨年度から会長を務めさせていただいております小山内仁です。開会にあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

コロナ禍で開催自体の意義が問われている「2020 東京五輪」開幕を来週に控え、未だに新型コロナウイルス感染症による影響が続く中、第7回尚美学園大学尚友会定期総会にご出席賜り、厚く御礼申し上げます。また、日頃より同窓会の活動にご理解ご尽力いただき、重ねて御礼申し上げます。

本来であれば尚美学園大学において、来賓をお招きし盛大に開催するところではございますが、新型コロナウイルス感染防止のため、このような形での開催となりました。皆様にはご多用の中、オンラインでのご参加いただき、誠にありがとうございました。

尚、本日はご多用の中、大学側よりオンラインで芸術情報学部の恩田憲一学部長様をはじめ多くの大学関係者のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。



まずは、午前中の役員会の席上で、前会長でありました高埜雅之様に感謝状を贈呈致しました。高埜様は、本大学の全身であります尚美音楽短期大学の初代同窓会長として、令和元年まで永年の同窓会運営に対して多大なるご尽力を賜り、改めて深く感謝申し上げます。本来であれば、この総会時、感謝状授与式を行う予定でしたが、高埜様の所用のため午前中の役員会の席上で贈呈致しましたことをご報告させていただきます。

高埜様におかれましては、引き続き、尚友会運営に対してご高配いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

尚、後日、その模様については、この総会の映像とともに、尚友会 HP にてアーカイブ映像としてご覧いただけることになります。



さて、今、世界が、社会が、地域が大きく変化する岐路に遭遇しています。世界的な新型コロナウイルス感染症まん延により、医療体制もひっ迫を見せ、国内でも緊急事態宣言が発令され、解除後も今なお感染者数の増加に歯止めが掛っていません。

また、地震をはじめ台風や大雨、洪水など、未曾有の災害が毎年のように起こるようになってきました。「今日の次には明日が必ず来る。明日は今日とさして変わらない日常の連続だ。」、誰もがそう考えていましたが、この一年の新型コロナウイルスの感染拡大で、私たち

は「何気ない日常」が簡単に壊れてしまうことを知りました。「何気ない日常」は不安定な土台の上に成り立っていることにも気づきました。誰もが当たり前のように思っていたが、「何気ない日常」は実に不安定で壊れやすいものだった。「今日と同じような明日は来ない。」のであります。だからこそ、尚美学園建学の精神「智と愛」のもとに学んだ尚美学園の卒業生は、その叡智と思いやりの慈愛をもって、このように、厳しい状況ではありますが、この国難ともいふべき時代を、それぞれの地で乗り越えていただけるものと確信しております。

これからも全国の卒業生の皆様と一層連携を密にして、尚美学園大学の発展と、尚友会の活性化に努めていく所存であります。全国の会員の皆様はじめ関係各位の皆様方には、今後とも引き続き御支援、ご協力をお願い申し上げまして開会の挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。



○第 1 号議案 2020 年度事業報告案について説明する。

2020 年度の総会は、新型コロナウイルス感染拡大の深刻な事態が続いていたため、会員の皆様はじめ総会出席者の方々の健康や安全面を考慮して、総会の開催を中止し、Web 開催による書面議決とさせていただきました。

概況にありますように、2020 年度事業は、卒業生並びに大学関係者からのご支援ご協力を賜り実施致しました。主な事業のうち、第 6 回定期総

会についてはコロナ禍の中、集合方式を中止し Web 開催とし致しました。

また、助成事業については、イベント助成及び支部活動助成をコロナ禍のため中止しました。

○第 2 号議案 2020 決算報告案、貸借対照表及び監査報告では、科目別に大項目のみ読み上げ、監査報告を行った。

○第 3 号議案 2021 年度事業計画案と第 4 号議案予算案について説明する。

2021 年度は、コロナ禍であるが「学びを止めない」ではありあせんが「同窓会活動を止めない」で新しいスタイルで活動を進めていきます。

今後徐々に様々な活動が可能となると思われますが、完全な終息が容易に見通せない中で、従来通りの活動が可能な状況になるかはまだ不透明です。

尚友会としては、今後の状況の推移を見ながら、オンライン会議システムの活用なども含めて、できる限り会員に対する支援を図るよう努めてまいりたいと考えております。

また、2021 年度予算案では、先ほどの事業計画に基づき、特に事業費を昨年度の約 2 倍に増額しました。理由は Zoom 形式での総会に係わる作業を業者委託したことが大きな要因です。さらに、助成費についても昨年度の 2 倍以上の増額となりました。理由は、コロナ禍の緊急対策として学生福利厚生助成を新設し、600 万円を予算化したことです。

○司会の富山副会長より、以下の確認を行った。

議題について、慎重かつスムーズなご審議をいただき、すべて可決され、報告事項も含めて、滞りなく無事に終了しましたことを、ご報告します。

役員一同、同窓会の発展に邁進する所存でございますので、卒業生の皆様には、これまで

にも増して、ご支援をいただけますように、お願い申し上げます。ありがとうございました。

－会長より終わりの挨拶－

本日は、初めてのオンラインによる総会を実施しました。全国各地から参加いただき、貴重なご意見やご要望を頂戴致しました。誠にありがとうございました。今後とも、3密（密閉・密集・密接）を基本とした「新しい生活様式」に配慮しながら、役員一同、尚友会運営を心掛けたいと思います。

今自分たちにできることは、真摯にそれぞれの地域と向き合い、地域創生、地域貢献、地域活性化のためにベストを尽くすことだと思います。さらに、尚美学園大学で学んだ力を信じ、全国の卒業生の皆様とオール尚美として、予測困難な時代を生きる人材としての誇りを持って、世界をリードしていきましょう。

また、7月に入っても首都圏を中心に感染者が増えており、コロナウイルスの脅威は続いています。この感染が少しでも終息に向かっていくことを祈念いたします。

最後になりましたが、会員の皆様におかれましては、体調管理に十分ご留意いただき、今後ともお元気で、ますますご活躍されますことをお祈り申し上げまして、閉会のあいさついたします。本日は誠にありがとうございます。



高埜顧問を囲んで（前列 左より2番目）